

2025年1月19日実施

令和6年度(第72回)
情報処理検定試験
〈ビジネス情報〉
第2級 筆記試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は8ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 停電や電源トラブルが発生した際、電力を一定の時間、供給する装置。
2. 日本産業規格が定めている、漢字やひらがななどを表現するための文字コード。
3. ファイルを階層型で管理するシステムにおいて、あるディレクトリの下位に位置するディレクトリ。
4. 個人情報を取り扱う事業者などが守るべき義務を定めた法律。個人情報を適切に管理し、個人の権利や利益を保護することを目的とする。
5. 利用するコンピュータの機種や環境に依存せず、作成したとおりに文書の表示、印刷が可能なファイル形式。

解答群

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| ア. サブディレクトリ | イ. PDF | ウ. ASCIIコード |
| エ. バックアップ | オ. 著作権法 | カ. UPS |
| キ. ZIP | ク. 個人情報保護法 | ケ. ルートディレクトリ |
| コ. JISコード | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. 磁気ヘッド 2. シングルサインオン 3. MIDI
4. テザリング 5. アーカイバ

<B群>

- ア. 磁気ディスク装置において、データの読み書きを行う最小記憶単位。
- イ. スマートフォンなどのデータ通信を介して、コンピュータやゲーム機などの通信機器をインターネットに接続する方法。
- ウ. 認証時に、一度のみ使用できる使い捨てパスワード。第三者になりすましをされるリスクを低減できる。
- エ. 磁気ディスク装置において、ディスクのデータを直接読み書きする部分。
- オ. 電子楽器の演奏や、コンピュータで作成した音程や音の長さなどの情報を、デジタルデータで記録したファイル形式。
- カ. 無線LANを利用する際、アクセスポイントを特定するために設定する識別子。
- キ. 複数のファイルを一つにまとめたり、元のファイルに戻したりするためのソフトウェア。
- ク. データの内容を一定の計算や手順によって加工し、記憶容量を小さくすること。
- ケ. 一度のユーザ認証で、複数の情報システムを利用できるしくみ。利便性が高いが、不正アクセスによる被害を受けた場合は、被害範囲が広がりやすい。
- コ. 動画や音声データを圧縮して保存したファイル形式。品質やデータ量の違いにより、いくつかの規格がある。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア，イ，ウの中から選び，記号で答えなさい。

1. 2進数の 1011110 と2進数の 100011 との差を表す10進数。

ア. 24

イ. 59

ウ. 129

2. プリンタなどで利用される色の表現方法。色の三原色だけでは完全な黒色が表現できないため，黒色を適切に補うことで，さまざまな色を表現する。

ア. CMYK

イ. CSV

ウ. RGB

3. アメリカに本部を置く，電気や電子工学分野の学会および専門家組織。これらの分野における，技術の標準規格を定めている。

ア. OSS

イ. IEEE

ウ. ISO

4. サービスを提供するコンピュータと，サービスを要求するコンピュータが役割を分けて運用するしくみ。

ア. クライアントサーバシステム

イ. サイトライセンス

ウ. ピアツーピア

5. 次の午前講習希望者表と，午後講習希望者表の和集合をとった場合，結果表として適切なもの。

午前講習希望者表

生徒番号	名前
1101	飯島 ○○
1104	栗原 ○○
1105	後藤 ○○
1112	高橋 ○○
1116	富岡 ○○
1118	早田 ○○
1122	森永 ○○

午後講習希望者表

生徒番号	名前
1103	春日 ○○
1104	栗原 ○○
1112	高橋 ○○
1116	富岡 ○○
1118	早田 ○○
1119	古川 ○○
1122	森永 ○○
1124	吉田 ○○

ア. 結果表

生徒番号	名前
1101	飯島 ○○
1105	後藤 ○○

イ. 結果表

生徒番号	名前
1104	栗原 ○○
1112	高橋 ○○
1116	富岡 ○○
1118	早田 ○○
1122	森永 ○○

ウ. 結果表

生徒番号	名前
1101	飯島 ○○
1103	春日 ○○
1104	栗原 ○○
1105	後藤 ○○
1112	高橋 ○○
1116	富岡 ○○
1118	早田 ○○
1119	古川 ○○
1122	森永 ○○
1124	吉田 ○○

- 【4】 あるヘアサロンでは、受付業務を次のようなりレシヨナル型データベースで管理している。次の各問いに答えなさい。なお、学生料金は料金の0.9倍であり、カットとスピードカットのみに適用される。

施術表

施術コード	施術名	料金	施術時間
S01	カット	4000	60
S02	スピードカット	3500	30
S03	カラー	5000	90
S04	パーマ	7000	150
S05	縮毛矯正	7000	150
S06	ヘッドスパ	1500	30
S07	顔そり	1000	20

受付表

来店日	会員コード	施術コード	店員コード
2025/01/13	K0001	S02	T003
2025/01/13	K0001	S07	T005
2025/01/13	K0007	S05	T004
2025/01/15	K0002	S01	T001
2025/01/15	K0002	S03	T001
2025/01/15	K0008	S01	T002
2025/01/16	K0003	S02	T005
2025/01/16	K0009	S04	T001
2025/01/17	K0005	S03	T001
2025/01/17	K0005	S04	T001
2025/01/17	K0011	S02	T003
2025/01/18	K0006	S01	T002
2025/01/18	K0006	S04	T002
2025/01/18	K0006	S06	T002
2025/01/18	K0010	S01	T001
2025/01/18	K0010	S03	T004
2025/01/19	K0001	S06	T002
2025/01/19	K0009	S06	T005
2025/01/19	K0004	S02	T003
2025/01/19	K0004	S04	T003
2025/01/19	K0004	S07	T003

店員表

店員コード	店員名	勤続年数	性別
T001	福島 ○○	9	女
T002	小野 ○	5	男
T003	石田 ○○	4	男
T004	金田 ○○	3	女
T005	星野 ○	2	女

会員表

会員コード	会員名	住所	生年月日	電話番号	性別	区分
K0001	金井 ○	前橋市○○町1-9	1991/08/21	XXX-XXX-5780	男	1
K0002	中井 ○○	前橋市○○町2-15-3	1998/05/12	XXX-XXXX-9164	女	1
K0003	川野 ○○	伊勢崎市○○町3410	2006/08/01	XXX-XXXX-3882	男	2
K0004	北山 ○	高崎市○○町123	2003/04/10	XXX-XXXX-4179	男	1
K0005	佐々木 ○○	伊勢崎市○○町1157	1988/12/15	XXX-XXXX-3714	女	1
K0006	平野 ○	高崎市○○町1744	1979/04/23	XXX-XXX-2106	女	1
K0007	阿部 ○○	高崎市○○町972	2007/09/29	XXX-XXXX-1003	女	2
K0008	今井 ○	前橋市○○町2065	2010/03/07	XXX-XXXX-6591	女	2
K0009	高木 ○	前橋市○○町433-9	2000/02/05	XXX-XXXX-7335	女	1
K0010	林 ○○	伊勢崎市○○町48	1996/12/28	XXXX-XX-0727	女	1
K0011	久保 ○○	高崎市○○町25-2	1990/01/19	XXX-XXX-8458	男	1

(注) 「区分」は、1 が一般、2 が学生である。

- 問1. 次の表は、会員表をもとにして作成したものである。このようなりレシヨナル型データベースの操作として適切なものを選び、記号で答えなさい。

会員コード	会員名	住所	生年月日	電話番号	性別	区分
K0001	金井 ○	前橋市○○町1-9	1991/08/21	XXX-XXX-5780	男	1
K0003	川野 ○○	伊勢崎市○○町3410	2006/08/01	XXX-XXXX-3882	男	2
K0004	北山 ○	高崎市○○町123	2003/04/10	XXX-XXXX-4179	男	1
K0011	久保 ○○	高崎市○○町25-2	1990/01/19	XXX-XXX-8458	男	1

ア. 結合

イ. 射影

ウ. 選択

問2. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 施術名
FROM 施術表
WHERE 施術時間 >= 90
```

ア.

施術名
パーマ
縮毛矯正

イ.

施術名
カラー
パーマ
縮毛矯正

ウ.

施術名
カット
スピードカット
ヘッドスパ
顔そり

問3. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 施術名, 店員名
FROM 施術表, 店員表, 受付表
WHERE 施術表.施術コード = 受付表.施術コード
AND 店員表.店員コード = 受付表.店員コード
AND 来店日 = '2025/01/19'
```

ア.

施術名	店員名
ヘッドスパ	小野 ○
ヘッドスパ	星野 ○
スピードカット	石田 ○○
パーマ	石田 ○○
顔そり	石田 ○○

イ.

施術名	店員名
カット	小野 ○
パーマ	小野 ○
ヘッドスパ	小野 ○
カット	福島 ○○
カラー	金田 ○○

ウ.

施術名	店員名
カット	福島 ○○
カラー	福島 ○○
カット	小野 ○
スピードカット	星野 ○
パーマ	福島 ○○

問4. 次のSQL文によって抽出されるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 会員名, 料金 * 0.9 AS 学生料金
FROM 施術表, 会員表, 受付表
WHERE 施術表.施術コード = 受付表.施術コード
AND 会員表.会員コード = 受付表.会員コード
AND 区分 = 2
AND (受付表.施術コード = 'S01' OR 受付表.施術コード = 'S02')
```

ア.

会員名	学生料金
今井 ○	3600

イ.

会員名	学生料金
金井 ○	3150
中井 ○○	3600
久保 ○○	3150
平野 ○	3600
林 ○○	3600
北山 ○	3150

ウ.

会員名	学生料金
今井 ○	3600
川野 ○○	3150

問5. 次のSQL文を実行したとき、表示される適切な数値を答えなさい。

```
SELECT AVG(勤続年数) AS 実行結果
FROM 店員表
WHERE 勤続年数 < 5
```

実行結果
※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

問4. 次の表は、干支確認表である。B3に「年」を入力すると、その値をもとにB5に「干支」を表示する。B5に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
1													
2		干支確認表											
3		年	2028										
4													
5		干支	申										
6													
7		干支表											
8		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
9		子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥

=HLOOKUP(MOD(B3,12)-IF(MOD(B3,12)<4, [空欄],3),A8:L9,2,FALSE)

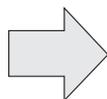
ア. -9

イ. 9

ウ. 12

問5. 次の表は、目標貯蓄額計算表である。次の条件から、「目標貯蓄額」を60000として、次のようなパラメータ設定を行い、表計算ソフトウェアのデータ分析機能を実行し、「お手伝い」の「回数」を求める。実行したデータ分析機能の名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	
1					
2		目標貯蓄額計算表			
3		項目	金額	回数	年額
4		お年玉	30,000	1	30,000
5		お小遣い	10,000	12	120,000
6		お手伝い	500	0	0
7		支出	9,000	12	108,000
8			目標貯蓄額		42,000



実行結果

	A	B	C	D	
1					
2		目標貯蓄額計算表			
3		項目	金額	回数	年額
4		お年玉	30,000	1	30,000
5		お小遣い	10,000	12	120,000
6		お手伝い	500	36	18,000
7		支出	9,000	12	108,000
8			目標貯蓄額		60,000

条件

- ・B4は30000, C4は1を入力する。
- ・B5は10000, C5は12を入力する。
- ・B6は500を入力する。
- ・B7は9000, C7は12を入力する。
- ・D4は次の式を入力し、D7までコピーする。
=B4*C4
- ・D8は次の式を入力する。
=SUM(D4:D6)-D7

パラメータ設定

数値入力セル:	\$D\$8
目標値:	60000
変化させるセル:	\$C\$6
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

ア. フィルタ

イ. ピボットテーブル

ウ. ゴールシーク

【6】 次の表は、あるしゃぶしゃぶ専門店における食べ放題注文数表である。作成条件にしたがって、各問いに答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	しゃぶしゃぶ食べ放題注文数表										
2											
3											
4	注文コード	コース名	豚		牛		鶏		注文数計	順位	備考
5			バラ	ロース	ロース	タン	つくね	もも			
6	SUM	梅コース	933	721	-	-	155	-	1,809	1	※
7	STA	竹コース	821	355	-	-	203	206	1,585	2	※
8	PUM	梅コース	773	507	-	-	135	-	1,415	7	※
9	PMA	松コース	762	226	245	-	147	159	1,539	4	※
10	PTA	竹コース	751	321	-	-	213	213	1,498	5	※
11	PKI	期間限定コース	516	283	213	231	118	213	1,574	3	※
12	SMA	松コース	483	187	485	-	119	154	1,428	6	※
13	SKI	期間限定コース	446	135	283	281	137	101	1,383	8	※
14	注文できるコース数		8	8	4	2	8	6			
15											
16	コース表										
17	コースコード	コース名	豚	牛	鶏	注文数合計	割合				
18	UM	梅コース	2,934	0	290	3,224	26.4%				
19	TA	竹コース	2,248	0	835	3,083	25.2%				
20	MA	松コース	1,658	730	579	2,967	24.3%				
21	KI	期間限定コース	1,380	1,008	569	2,957	24.2%				

(注) 「豚」、「牛」、「鶏」の数値は注文数を、-は注文できないことを示す。また、※印は、値の表記を省略している。

作成条件

- 「しゃぶしゃぶ食べ放題注文数表」は、次のように作成する。なお、注文数計には同数はないものとする。
 - 「注文コード」は次のように構成されている。なお、グレードは S がスタンダードで、P がプレミアムである。
例 SUM → S UM
 グレード コースコード
 - 「コース名」は、「注文コード」の右端から2文字を抽出し、「コース表」を参照して表示する。
 - 「注文数計」は、「豚」から「鶏」までの注文数の合計を求める。
 - 「順位」は、「注文数計」を基準として、降順に順位を求める。
 - 「備考」は、K6に次の式を設定し、K13までコピーする。
=IF(AND(C6>=750, I6<=1500), "O", "")
 - 「注文できるコース数」は、各列の - 以外の値の件数を求める。
- 「コース表」は、次のように作成する。
 - 「豚」は、「しゃぶしゃぶ食べ放題注文数表」の「コース名」ごとに「豚」の「バラ」と「ロース」の合計を求める。
 - 「牛」は、「しゃぶしゃぶ食べ放題注文数表」の「コース名」ごとに「牛」の「ロース」と「タン」の合計を求める。
 - 「鶏」は、「しゃぶしゃぶ食べ放題注文数表」の「コース名」ごとに「鶏」の「つくね」と「もも」の合計を求める。
 - 「注文数合計」は、「豚」から「鶏」までの注文数の合計を求める。
 - 「割合」は、次の式で求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。
[注文数合計 ÷ 注文数合計の合計]

問1. B6に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をB13までコピーする。

- ア. =VLOOKUP(RIGHT(A6,2), \$A\$18:\$B\$21,2,TRUE)
- イ. =VLOOKUP(RIGHT(A6,1), \$A\$18:\$B\$21,2,TRUE)
- ウ. =VLOOKUP(RIGHT(A6,2), \$A\$18:\$B\$21,2,FALSE)

問2. J6に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をJ13までコピーする。

- ア. =RANK(I6,\$I\$6:\$I\$13,1)
- イ. =RANK(I6,\$I\$6:\$I\$13,0)
- ウ. =RANK(\$I\$6:\$I\$13,I6,1)

問3. K6~K13に表示される ○ の数を答えなさい。

問4. C14に設定する式として適切でないものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をH14までコピーする。

- ア. =COUNTA(C6:C13)
- イ. =COUNT(C6:C13)
- ウ. =COUNTA(C6:C13)-COUNTIFS(C6:C13,"-")

問5. C18に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC21までコピーする。

- ア. =SUMIFS(\$C\$6:\$D\$13,\$B\$6:\$B\$13,B18)
- イ. =SUMIFS(\$C\$6:\$C\$13,\$B\$6:\$B\$13,B18)-SUMIFS(\$D\$6:\$D\$13,\$B\$6:\$B\$13,B18)
- ウ. =SUMIFS(\$C\$6:\$C\$13,\$B\$6:\$B\$13,B18)+SUMIFS(\$D\$6:\$D\$13,\$B\$6:\$B\$13,B18)

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第72回)情報処理検定試験ビジネス情報 第2級 筆記

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【5】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	(b)		

【6】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第72回)情報処理検定試験ビジネス情報 第2級 筆記

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	カ	コ	ア	ク	イ

【2】	1	2	3	4	5
	エ	ケ	オ	イ	キ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ア	イ	ア	ウ

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	イ	ア	ウ	3

各3点
20問

小計

60

【5】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	(b)		
	ア	イ	ウ	カ	ア	ウ

【6】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	イ	2	ア	ウ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100

2025年1月19日実施

令和6年度(第72回)
情報処理検定試験
〈ビジネス情報〉
第2級 実技試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート名「報告書」のA1のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は2ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です(印刷時間は含みません)。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、1ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

次の表は、ある貸し会議室における売上分析表である。作成条件にしたがって、シート名「会議室名表」とシート名「売上表」から、シート名「報告書」を作成しなさい。

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

1. 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

(設定する書式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，%，小数の表示桁数)

2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。

3. グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。

4. 「1. 会議室別分析表」は、次のように作成する。

(1) 「会議室名」は、「コード」をもとに、シート名「会議室名表」を参照して表示する。

(2) 「レンタル回数」は、シート名「売上表」から「コード」ごとの件数を求める。

(3) 「時間計」は、シート名「売上表」から「コード」ごとに「時間」の合計を求める。

(4) 「売上金額計」は、シート名「売上表」から「コード」ごとに「売上金額」の合計を求める。

(5) 「備考」は、「時間計」が 30 以上、または「売上金額計」が 50000 以上の場合、○ を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

(6) 「合計」は、各列の合計を求める。

5. 「2. エリア別分析表」は、次のように作成する。

(1) 「人数合計」は、シート名「売上表」から「エリア名」ごとに「人数」の合計を求める。

(2) 「売上金額合計」は、シート名「売上表」から「エリア名」ごとに「売上金額」の合計を求める。

(3) 「売上金額平均」は、シート名「売上表」から「エリア名」ごとに「売上金額」の平均を求める。ただし、整数部のみ表示する。

(4) 「割合」は、次の式で求める。ただし、小数第3位未満を切り捨て、%で小数第1位まで表示する。

「売上金額合計 ÷ 売上金額合計の合計」

6. 100%積み上げ横棒グラフは、「2. エリア別分析表」から作成する。

(1) 数値軸（横軸）の目盛は、最小値（0%）、最大値（100%）および間隔（25%）を設定する。

(2) 凡例の位置を設定する。

(3) データラベルを設定する。

	A	B
1		
2	会議室名表	
3	コード	会議室名
4	R01	スカイ
5	R02	マイルーム
6	}	}
12	R09	カラメル
13	R10	グリーン

(会議室名表)

	A	B	C	D	E
1					
2	売上表				
3	コード	エリア名	人数	時間	売上金額
4	R01	Aエリア	3	3	9,900
5	R03	Eエリア	5	3	4,500
6	}	}	}	}	}
119	R04	Dエリア	2	1	1,200
120	R06	Aエリア	7	3	7,500

(売上表)

	A	B	C	D	E	F	G
--	---	---	---	---	---	---	---

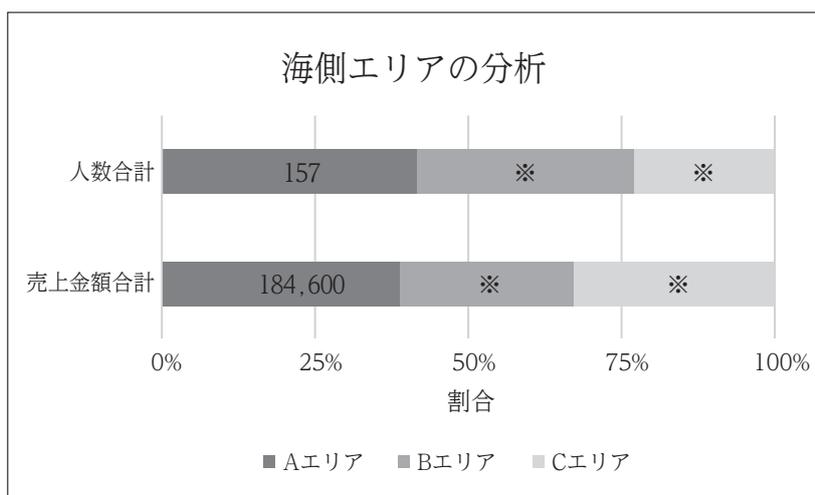
貸し会議室の売上分析表

1. 会議室別分析表

コード	会議室名	レンタル回数	時間計	売上金額計	備考
R01	スカイ	16	37	122,100	○
R09	※	※	※	※	※
R03	※	※	※	※	※
R07	※	※	※	※	※
R04	※	※	※	※	※
R10	※	※	※	※	※
R08	※	※	※	※	※
R02	※	※	※	※	※
R05	※	※	※	※	※
R06	※	※	※	※	※
	合計	※	※	※	

2. エリア別分析表

エリア名	場所	人数合計	売上金額合計	売上金額平均	割合
Aエリア	海側	157	184,600	7,100	26.8%
Bエリア	海側	※	※	※	※
Cエリア	海側	※	※	※	※
Dエリア	山側	※	※	※	※
Eエリア	山側	※	※	※	※



(報告書)

(令和7年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和6年度(第72回)情報処理検定試験ビジネス情報 第2級 実技

審査基準

A	B	C	D	E	F	G	
1	貸し会議室の売上分析表						
2							
3							
4	1. 会議室別分析表						
5	コード	会議室名	レンタル回数	時間計	売上金額計	備考	
6	R01	スカイ	16	37	122,100	○	
7	R09	カラメル	13	33	92,400	○	
8	R03	リラックス	12	30	45,000	○	
9	R07	キャンパス	12	29	37,700		
10	R04	エレガンス	12	28	33,600		
11	R10	グリーン	11	29	89,900	○	
12	R08	サロン	11	23	39,100		
13	R02	マイルーム	10	27	97,200	○	
14	R05	スクエア	10	25	67,500	○	
15	R06	シーサイド	10	25	62,500	○	
16		合計	117	286	687,000		
17							
18	2. エリア別分析表						
19	エリア名	場所	人数合計	売上金額合計	売上金額平均	割合	
20	Aエリア	海側	157	184,600	7,100	26.8%	
21	Bエリア	海側	133	134,900	6,132	19.6%	
22	Cエリア	海側	86	157,400	7,495	22.9%	
23	Dエリア	山側	126	126,000	5,040	18.3%	
24	Eエリア	山側	172	84,100	3,657	12.2%	
25							
26							
27	海側エリアの分析						
28							
29							
30	注2						
31	人数合計	157		133	86		
32							
33	注3	売上金額合計					
34	184,600		134,900		157,400		
35							
36	注4	割合					
37	0%		25%		50%		
38			75%		100%		
39							
40	注5	■ Aエリア ■ Bエリア ■ Cエリア					
41							

配点

- ① 表の作成 () の箇所 …… 5点×13箇所=65点
 注1 R10が○, R08が空白。
- ② 罫線 …… 5点×1箇所=5点 (2つの表の罫線が正確にできている)
- ③ グラフの作成 () の箇所 …… 5点×6箇所=30点
 注2 数値(133)。
 注3 100%積み上げ横棒グラフで、位置は「人数合計」の下であること。左右の積み重ね順およびデータラベルの有無は問わない。
 注4 最小値(0%), 最大値(100%) および間隔(25%)。
 注5 位置はグラフの下側にあること。左右の順序は問わない。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。